

若手職員の日



日々是挑戦
青野 諒

経歴 平成24年 4月 総務省採用
 同 消防庁総務課
 平成24年 8月 現職

私は、入省後間もなく栃木県に赴任し、県財政に関する仕事をしています。1年目は保健福祉関係、2年目の現在は農業関係の予算査定を担当しており、疾病対策から公共事業まで、様々な政策形成に幅広く携わる機会をいただいています。まだまだ経験が浅く、知らないことの多い私ですが、担当課の方々の話を丁寧に聞き、その分野の素人だからこそ持てる視点も大切にしながら、お互い納得いくまで議論することを心掛けています。

これまで暮らしたことのない土地で、予算という重要事項を扱うことに苦労するときもありますが、日々の新しい発見に大きなやりがいと喜びを感じながら、次の未知なる案件に挑み続ける毎日です。



もし、～だったら。
 を現実にするために
小川 友希

経歴 平成24年 4月 総務省採用
 同 情報流通行政局情報通信利用促進課
 平成24年 8月 現職

現在、地方自治体における情報化の推進、特に情報通信技術を用いた防災対策に関する仕事をしています。

東日本大震災や近年多発している豪雨災害等の教訓として、災害時に命を守るために必要なもののひとつとして「情報」があると思います。もし、自治体からの危険だという情報が届いていたら、もし、正しい避難経路がわかっていたら。

現在は、誰もが確実に情報を入手するため、自治体の発する災害情報等を集約し、テレビ、ラジオ、携帯電話、インターネット等の多様なメディアを通じて住民に一括配信するための情報基盤の普及に携わっています。また、地図情報や人・車等の位置情報等を活用して適切な避難経路を住民に伝達するなど、自治体の防災対策に地図情報等を役立てる施策の担当もしています。

携わっている施策が少しずつ形になり、「もし、～だったら。」と思っていたことが現実になり、いつかどこかで誰かの命を助けることにつながると信じて、日々の業務に取り組んでいます。



技 術 系

Ministry of Internal Affairs and Communications

